

鉄道・軌道業における墜落・転落災害の死傷災害発生事例（2017年）

2017年発生月	時間	死傷災害発生事例	年齢	労働者規模
2	11~12	列車運転夫として、定時到着後誘導担当者の合図により仕業1番に入線して、納区点検後降車しようとして1エンド山側（前方）より降車した際に左手を手摺りにかけた際に手摺りが滑り後方に体重がかかったのでバランスを崩して地面に落下した際に背中と右足首を強打した。	52	100～299
3	1~2	トンネル内で、き電ケーブル切替訓練中に、上下線間の保守用通路階段上のグレーチングの上で若手社員に教育を行っているとき、グレーチングが途切れていることに気づかずに側面から1.5m下の階段に転落し、緊急搬送された。	58	100～299
4	9~10	本人は北部運転連結A担当見習いとして従事し、予備車整正入れ換えのため、客留線で入換作業を行っていた。客留7番線に留置してある予備車両に連結後、手歯止めの状態を確認するために、街側から海側へ移動しようとして車両に乗り込み、乗降ドアから降車する際、ステップから足を踏み外し受傷した。	23	50～99
6	5~6	本人は、留置されていた列車の最前部乗務員室に乗り込む為、乗務員乗降ドアを開け、左足のつま先をステップに掛けた足を滑らせ、洗浄台と列車の間に転落した。自力で洗浄台へ這い上がったところ、右手首と左腰に擦り傷、胸に強い痛みを感じた為、当番に報告し、駅到着後、管理者と共に病院で診察を受けたところ、外傷性気胸の疑いと打撲傷で全治1週間の診断を受けた。さらに後日に受診したところ、左胸骨の6番から10番に骨折があるのが判明し、全治1カ月の診断を受ける。	62	100～299
6	15~	上部線巡回検査終了後、パノラマ周遊ルートから登山道を歩いて2名で下山していた。被災者が先頭で、10m程後方を他者が続いていたところ、登山道を間違っ降りてしまい、被災者が足を滑らせ滑落した。（後方を歩いていた他者も、被災	49	100～

	16	者の滑落を把握しないまま下山を続け、同様に足を滑らせ滑落した。) 滑落後、両名は合流できたが、急峻な地形のため身動きができず、被災者の携帯電話で救助要請をした。その後、防災ヘリにて救助され、病院へ搬送された。		299
6	15～ 16	パノラマ周遊ルートから登山道を歩いて2名で下山していた。他者が先頭で、10m程後方に被災者が続いていたところ、登山道を間違っ降りてしまい、最初に他者が足を滑らせ滑落し、被災者は他者の滑落を把握しないまま下山を続け、同様に足を滑らせ滑落した。滑落後、両名は合流できたが、急峻な地形のため身動きができず、携帯電話で救助要請をした。その後、防災ヘリにて救助され、病院へ搬送された。	37	100 ～ 299
6	2～3	泊り勤務中、仮眠時間中にトイレに行き、薄明かりの中仮眠室へ戻る途中、階段を下りていたところ、下から3段目で足を踏み外して転倒し、両膝と胸を打撲した。翌朝まで通常業務を行い帰宅したが、胸の痛みが続き、左肋骨骨折と診断された。	52	1～ 9
7	11～ 12	当該社員は、詰所にてチェックシートの記載を終え、3号車の床下機器点検のため出動した。ヘルメットのあご紐をつけながら3号車に向う際、点検台に上がる階段付近にて誤ってピット内に右足を踏み外し、1mの高さからピット下に右半身が下向きの状態で転落した。	56	50 ～ 99
10	13～ 14	乗務中の車掌（被災者）が駅に到着後に、列車のドアを開けて、ホームの状況確認に乗務員室からホームに降りた瞬間に喫煙室に向かおうとホームを走ってきたお客様（相手方）と衝突した。その反動で車掌は線路上に飛ばされて仰向けになった状態で転落した。	57	50 ～ 99
11	11～ 12	駅舎においてロープウェー搬器の走行部点検・給油中、安全带（2丁掛け）を使用し、5つ目の走行輪に移動し、当該箇所に給油しようとし安全带を掛けかえようとしたところ、足元が滑り、3.1m下の搬器天部に墜落し、その反動で搬器天部から4.6m下の地面に転落し、右全身を強打し、負傷した。	46	10 ～ 29
11	10～ 11	駅構内の石垣の上（高さ1.7m）の木の枝の切り落とし作業中、石垣の上から切れ残った枝を引っ張っていたところ、枝が折れた反動でバランスを崩し高さ1.7mの通路に転落着地した際に、右足踵に痛みを感じたため直ちに救急手配を行い病院へ搬送された。	34	10 ～ 29

12	9~10	<p>機関車を整備するピット内にて、空気圧縮機の駆動ベルト交換作業中に、幅40cm位の機関車デッキ上にて（デッキ上から地上まで1.3m位の高さがあり、落下の危険性がある状態）、ベルト交換後の圧縮機位置合わせのため、バールをボルトの穴に差し込んで引っ張ったところ、突然バールが滑り抜けて転落し、左手首を骨折し、股関節も骨折の疑いがある。</p>	46 10 ~ 29
----	------	---	---------------------

出典：[https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen\\_pgm/SHISYO\\_FND.aspx](https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx)(職場のあんぜんサイト)

Return to : [https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206\\_09.html](https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_09.html)